

自己改革の さらなる挑戦実践中

JA伊万里は、平成28年度からの3カ年、農家・組合員の豊かなくらしを支えるため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの目標を掲げ、具体的な目標・計画を設定して、自己改革に取り組んでいます。

平成30年度は、JA伊万里が取り組む自己改革の最終年度であるとともに、政府が設定した“農協改革集中推進期間（平成26年6月～平成31年5月）の終了期限に向けた重要な年度となり、自己改革の目に見える結果と組合員から好評価を得る取り組みを重点的に進めています。

今後も、JA伊万里は農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業の振興、さらには、地域協同組合として「食や農」を通じた地域貢献活動に取り組んでいきます

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への更なる挑戦

JA伊万里は地域農業の将来見通しをふまえ、担い手ニーズに対応する施策を展開し、消費者・実需者のニーズに応えるよう需要を捉えた農産物販売の拡大を図り、農業者の所得増大を目指しています。

- ①連合会との機能分担により、担い手経営体の高度な個別ニーズに対応した総合的な事業提案力を強化しています。
- ②農産物の販売チャネルの拡大や業務用・加工用需要など消費者・実需者のニーズの変化を捉え直接販売や実需者との多様な契約方式等による販売拡大を進めています。
- ③輸出や実需者ニーズに対応した物流体制の構築、新たな販売チャネル・需要の開拓に取り組んでいます。
- ④肥料・農薬の銘柄集約、物流体制の見直し等を行い、生産トータルコストの低減に取り組んでいます。
- ⑤親元就農者等による円滑な経営継承支援、行政等関係機関と連携した農外新規就農者の拡大を支援しています。

組合員の皆さんの期待・要望に応えるため、さらなる自己改革に取り組んでいることをご理解ください。